


おおがたん通信

地域ぐるみで子どもの学び・育ち・心を育てます。

大潟村教育委員会発行 第1号



大潟村の皆さん、こんにちは。
大潟村コミュニティ・スクール マスコットキャラクター
「おおがたん」です。
「おおがたん通信」は、コミュニティ・スクールの取組を皆さん
に紹介するおたよりです。

令和2年度の学校運営協議会の委員の皆さんを紹介します。
“地域ぐるみで子どもを育てる学校づくり”にご協力頂いています。

大潟村コミュニティ・スクール 学校運営協議会委員 会長 藤井 真 副会長 伊藤 譲

こども園部会	小学校部会	中学校部会
◎本庄ゆかり	◎藤原 宏之	◎藤井 真
○芹田 省一	○土田 崇裕	○川渕 雄一
今野いずみ	大沼 葉子	佐野 潤
菅生 金作	山本 嘉子	仁木富峰也
村上 和子	丹野あすか	藤平 利夫
斉藤 幸子	伊藤 譲	清塚砂恵子
石黒みぎわ	古戸 信介	石川 歳男
小澤 睦 (こども園長)	一関 隆則 (小学校長)	安田 和人 (中学校長)

◎部会長 ○副部会長

あいさつ運動にご協力ください。

大潟こども園・小学校・中学校では、連携して“あいさつのできる子ども
の育成“に取り組んでいます。

学校運営協議会では、子どもたちが、地域でも元気に挨拶ができるよう、
昨年度から“あいさつ運動”に取り組んでいます。

子どもたちの元気なあいさつは、村を元気にします。地域ぐるみで、
“あいさつのできる子ども“を育てていきましょう。



◎あいさつは、コミュニケ
ーションのはじめの一步

こんな子どもを育てます！大潟こども園

教育・保育目標	キラッと輝く大潟っこ 「かかわる力」 「たくましい心と体」 「豊かな感性」
子どもの実態	○よさ ・身近な自然に親しみながら、のびのびと元気に遊んでいる。 ▲課題 ・自分の思ったことを言葉で表現することが苦手である。
めざす 子どもの姿	①身近な人とかかわり、元気いっぱい遊ぶ子ども ②自分に自信をもち、あきらめずがんばろうとする子ども ③自然の変化や不思議に気づき、表現する子ども
身に付けたい 資質能力	やってみようとする意欲



こども園部会

7 / 9 (木)



～こんなご意見がありました。～

年長さんたちが意欲的にあいさつ運動に取り組んでいます。あいさつに関心をもつようになりまして。

『各住区で行う草取りや水かけ等の活動に合わせて子どもたちが散歩に出かけ、地域の方たちとあいさつを交わす』よい取組だと思います。この取組を広く発信し、もっと情報収集してはどうでしょうか。

子ども同士のトラブルはあると思いますが、園ではどのように対応していますか。

保護者の中には、不安を感じたり、悩んだりしている方がいます。気軽に相談していただけるようこども園から発信してはどうでしょうか。学校運営協議会として、協力できることがあったら言ってください。



※こども園では、各住区で行う活動（草取りや水かけ等）の情報提供をお願いしています。
こども園 Tel 4 5 - 2 3 4 5

こんな子どもを育てます！大湊小学校

学校教育目標	豊かな心で、たくましく、夢に向かって学び続ける子どもの育成
子どもの実態	○よさ ・ 明るく素直 ・ 話す・聞く態度の改善 ・ 将来の夢や目標 ▲課題 ・ よりよい人間関係づくり ・ 考えを伝え合い、深める力 ・ あきらめずにやり遂げようとする たくましさ
めざす 子どもの姿	① 考えを伝え合い、深める子ども ② 健康で、明るいあいさつができる子ども ③ 思いやりの心を持ち、あきらめずにがんばりぬくたくましい子ども
身に付けたい 資質能力	○かかわり合う力 ○聞く力・話す力



小学校部会

7 / 20 (月)



～こんなご意見がありました。～

規範意識の育成は、重視したいです。学校・家庭・地域が連携し、どのようなことができるか話し合っはてはどうでしょう。また、子ども同士で話し合うことも必要です。

目標設定を重視しているとのことでしたが、子どもには、学年や個人に相応の目標を考えてほしいです。例えば、“30分集中して取り組む”など具体的な目標設定が必要だと思います。

地区陸上記録会や浦安交流がなくなり、他校の児童と触れ合う機会がなくなりました。子どもが自立していくためには第三者と関わる事が大切だと思います。

タブレットの活用が進められていますが、子どもに情報モラルの指導を徹底してほしいです。どんなことができるのかを伝えるとともに、使用にあたっては、条件を出すことも必要だと思います。保護者にも、理解してもらえるよう働きかけてほしいです。



※小学校では、図書ボランティアを募集しています。読み聞かせが大好きな湊っ子たちのためにご協力ください。
 詳細は、大湊小学校(Tel 45-2121)まで。

学校教育目標	志高く 英知を磨き 扉をひらく
子どもの実態	○よさ <ul style="list-style-type: none"> ・諸調査で評価しやすい、「見える学力」が比較的高い ・自分の可能性に挑戦しようとする意欲が高まっている ▲課題 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学習に取り組む意欲を、一層高める必要がある ・社会生活を営む上で必要な規律を、更に育てる必要がある
めざす 子どもの姿	①見えないものに興味をもち、自ら学ぶ生徒 ②凡事を徹底し物事に前向きに挑戦する生徒 ③ふるさとや人と関わり、共に励む生徒
身に付けたい 資質能力	探究心・行動力・協働性



中学校部会 7 / 1 (水)

～こんなご意見がありました。～



コロナで休校中、農作業の手伝いをしてくれました。いつの間にか、“たくましくなった”と感じました。このような体験が自己有用感につながると思います。

自分の中学校時代と比べると、はっきりと自分の意見や考えをもち、話しています。

社会性の育成は、人と関わることの楽しさや必要性を子どもたち自らが自分の体験を通して自覚する以外はないと考えます。

学校報等のおたよりは、子どもたちが配布していますが、安全面や生徒数の減少を考えると困難になっていると思います。子どもが配るよさはあると思いますが、村の広報にはさむ、学校報等のおたよりを毎月QRコードで知らせるなど、他の方法を考えてみてはどうでしょうか。

ヘルメットの着用について子どもたちはどう思っているのでしょうか。議論させてはどうでしょうか。現状では、村の交通状況やこれまでの経緯などから保護者も着用を子どもたちに強くすすめていません。

